

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成26年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川海洋文化センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づき、民間事業者により管理運営が行われているが、子供連れの家族を中心に施設を利用する者は多い。特に、夏季におけるじゃぶじゃぶ池の利用者は大変多く、海と直に触れ合うことができる場としての本施設の持つ意義は大きい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域の人々の交流を促進する複合文化施設の役割を果たす。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の適正な管理運営を行うとともに海洋文化に関する知識の普及を図る。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	77,794 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	282 千円
	一般財源	77,512 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	77,794 千円	76,611 千円	76,661 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く満足度も高いため、引き続き施設の運営を図っていく。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川中部幹線整備に係る一般的経費	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成11年度 ～ 平成26年度
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成25年度末に兵庫県において整備を進めていた東播磨道（第一期工事）が開通された。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者・自転車の通行の安全を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川、野口、加古川北地区の道路、道路利用者（通過車両、市民）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成27年度末（繰越）の事業完了を目指し、道路改良を行う。なお、平成26年度は、道路改良工事を行った。

【コスト】

	平成26年度（決算見込）	
事業費合計	974 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	974 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	025 南北道路整備事業

【コスト推移】

	平成26年度（決算見込）	平成25年度（決算）	平成24年度（決算）
事業費合計	974 千円	1,453 千円	1,599 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 円滑に東播磨道の北伸事業を推進するため、現状を維持することが適切である。（「道路新設改良事業に要する一般的経費」へ統合）
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川中部幹線整備に係る一般的経費	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	街路事業に要する一般的経費	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	計画期間内に用地取得及び整備を完了させる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中心市街地へ集中する交通量を効率的に分散させ、交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者・自転車の通行の安全を図る。
対象 ※誰、何に対して	該当路線の周辺住民及び道路利用者(通過車両、市民)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	計画期間内の供用開始を目指し、道路の改良を行う。なお、平成26年度は道路改良工事、用地買収及び物件補償等を行った。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	797 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	797 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	797 千円	683 千円	636 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	円滑に街路事業を執行するため、現状を維持することが適切である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	街路事業に要する一般的経費	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	先行取得用地維持補修事業（道路建設課一街路事業費）	部局名	建設部
		課（室）名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	事業の円滑な執行のため、公拡法等により先行取得した用地について、事業及び工事着手まで期間を要することから、除草や清掃等の現場管理が必要である。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	事業着手までの期間における該当地への不法侵入・不法投棄を防ぐとともに、除草・清掃を行うことで土地の適正な維持管理を図る。
対象 ※誰、何に対して	先行取得用地
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	先行取得した用地へのフェンス等管理施設の設置に加え、該当地の除草・清掃を行う。

【コスト】

	平成26年度（決算見込）	
事業費合計	1,870 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,870 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	015 先行取得用地維持補修事業

【コスト推移】

	平成26年度（決算見込）	平成25年度（決算）	平成24年度（決算）
事業費合計	1,870 千円	1,837 千円	2,260 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	先行取得用地の除草・清掃等により、適正に維持管理が図られているため、現状を維持することが適切である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	先行取得用地維持補修事業（道路建設課－街路事業費）	部局名	建設部
		課（室）名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川中部幹線整備事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成11年度 ～ 平成27年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法

【事業概要】

現状と課題	平成25年度末に兵庫県において整備を進めていた東播磨道（第一期工事）が開通された。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者・自転車の通行の安全を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川、野口、加古川北地区の道路、道路利用者（通過車両、市民）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成27年度末（繰越）の事業完了を目指し、道路改良を行う。なお、平成26年度は、道路改良工事を行った。

【コスト】

	平成26年度（決算見込）	
事業費合計	222,416 千円	
財源内訳	国庫支出金	33,148 千円
	県支出金	千円
	地方債	106,600 千円
	その他特財	0 千円
	一般財源	82,668 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	025 南北道路整備事業

【コスト推移】

	平成26年度（決算見込）	平成25年度（決算）	平成24年度（決算）
事業費合計	222,416 千円	455,592 千円	393,339 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により、円滑に事業推進が図られた。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	加古川中部幹線整備事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
対象道路の延長距離	m	900	1,000	400

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	3,300	2,400	1,400
活動指標分析結果	平成26年度は、最終的な道路改良工事と公社買戻しを行った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	100	95	91	平成27年度	100
成果指標分析結果	平成25年度末に供用開始ができ、関連工事の最終整備についても計画どおりの進捗が図られている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	県施行街路事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	～ 平成26年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	地方財政法第27条第1項

【事業概要】

現状と課題	事業者である兵庫県が、確実に事業進捗を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	兵庫県実施の街路事業の進捗を図る。
対象 ※誰、何に対して	兵庫県
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	工事負担金を支出する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	87,028 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	78,200 千円
	その他特財	千円
	一般財源	8,828 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	87,028 千円	103,924 千円	290,885 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	負担金の適正な執行により、円滑に事業推進が図られた。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	県施行街路事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
兵庫県	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
負担件数	件	1	1	1
活動指標分析結果	平成26年度は、事業者である兵庫県に対して工事負担金を執行した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
負担済件数	件	1	1	1	平成26年度	1
成果指標分析結果	確実に負担金の執行を行っている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	中津水足線外1線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成13年度 ～ 平成27年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、道路法

【事業概要】

現状と課題	平成27年度までに、都市計画道路平野神野線の用地取得を完了させる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中心市街地へ集中する交通量を効率的に分散させ、交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者、自転車の通行の安全を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川地区の周辺住民及び、道路利用者(車両、市民等)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成27年度末部分供用を目指し、道路改良を行う。なお、平成26年度は、物件調査、埋蔵文化財調査、用地測量、土地取得、物件補償、道路改良工事を行った。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	406,735 千円	
財源内訳	国庫支出金	221,731 千円
	県支出金	千円
	地方債	163,300 千円
	その他特財	千円
	一般財源	21,704 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	406,735 千円	254,005 千円	83,738 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間内の完成に向け、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	中津水足線外1線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
対象道路の延長距離	m	0	0	530

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	150	150	0
活動指標分析結果	平成26年度は、物件調査8件、埋蔵文化財調査2件、用地測量16,400m ² 、用地買収3,461.74m ² 、物件補償6件、道路改良工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	98	91	76	平成27年度	100
成果指標分析結果	早期事業効果の発現を見据え、平成27年度末部分供用を目標として、特定財源の確保に苦慮しながら、事業を推進している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	神吉中津線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成19年度 ～ 平成27年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、道路法

【事業概要】

現状と課題	平成27年度までに、中津水足線以北で加古川左岸線の用地取得を完了する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中心市街地への交通の流入を容易にするとともに、加古川渡河部の慢性的な交通渋滞の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川地区、加古川西地区の周辺住民及び道路利用者(車両、市民等)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成27年度までに、中津水足線以北で加古川左岸線の用地取得を行う。平成26年度は、物件調査、用地測量、用地取得、物件補償を行った。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	83,532 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	28,300 千円
	その他特財	51,230 千円
	一般財源	4,002 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	83,532 千円	175,583 千円	72,258 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間の最終年度が近づくなか、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	神吉中津線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
事業進捗率	%	95	85	73

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
今年度までに取得した用地取得率	%	96	85	73
活動指標分析結果	平成26年度は、3件の用地買収を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	96	85	73	平成27年度	100
成果指標分析結果	平成27年度末までに、中津水足線以北で加古川左岸線の用地を取得することを目標として、特定財源の確保に苦慮しながら、事業を推進している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	新統合病院周辺整備事業（道路建設課）	部局名	建設部
		課（室）名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 平成26年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	道路法

【事業概要】

現状と課題	平成26年度にJR山陽本線から国道2号方面の430m区間について工事完了済である。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	新統合病院への主アクセス道路の整備により、アクセス性の向上を図るとともに、近隣地区内道路への車両進入増加を防止する。また、歩道整備による自転車・歩行者の通行の安全を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川地区の道路、及び道路・病院施設利用者（車両、市民等）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成26年度は、道路改良工事を実施した。

【コスト】

	平成26年度（決算見込）	
事業費合計	48,078 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	43,200 千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,878 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	046 病院統合・再編事業

【コスト推移】

	平成26年度（決算見込）	平成25年度（決算）	平成24年度（決算）
事業費合計	48,078 千円	133,013 千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	<p>過年度において関係機関との協議を完了させ、用地買収、物件補償、及び工事発注共に実施済である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	新統合病院周辺整備事業（道路建設課）	部局名	建設部
		課（室）名	道路建設課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
対象道路の延長距離 （事業費按分）	m	430	380	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
整備済道路延長（事業費按分）	m	430	380	
活動指標 分析結果	平成26年度は道路改良工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
工事発注件数	件	1	1		平成26年度	1
道路事業進捗率	%	100	89		平成26年度	100
成果指標 分析結果	平成26年度道路改良工事により事業完了した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	港湾維持補修事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	昭和49年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	港湾法

【事業概要】

現状と課題	排水樋門の維持・管理は、昭和49年より池田水利組合に協定に基づき、委託しているが、施設の老朽化が進んでいる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	安全な港湾を維持する
対象 ※誰、何に対して	排水樋門等の港湾関係施設
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	排水樋門や常夜灯の維持、補修及び管理

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	7,972 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	3,364 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,608 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	04 港湾費
目	01 港湾管理費
細目	015 港湾維持補修事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	7,972 千円	12,180 千円	7,758 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	県が主体の事業なので、補修料等の予算措置を依頼する。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	港湾維持補修事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	港湾統計調査事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	昭和22年度 ～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	統計法・港湾調査規則

【事業概要】

現状と課題	平成21年10月30日調査港湾の全面見直しや、陸上出入貨物調査及び上屋・倉庫・貯留場調査の廃止等を行い、調査の合理化を行った
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	正確な報告を受ける。
対象 ※誰、何に対して	東播磨港の施設利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設利用状況を利用者から報告を求め、基幹統計「港湾統計」として集約し、港湾管理者へ月ごとに報告する。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	25 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	25 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	04 港湾費
目	01 港湾管理費
細目	010 港湾統計調査事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	25 千円	63 千円	27 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	統計法に基づき対象となる港湾に、国が実施する統計事務である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	港湾統計調査事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	港湾振興及び保全対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	昭和49年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	港湾法

【事業概要】

現状と課題	別府地区と尾上地区の港湾があり、現在、東播磨港湾計画(平成10年改定)に基づき浚渫や防波堤整備が進められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	不具合なく快適に利用してもらう。
対象 ※誰、何に対して	港湾利用者の安全・振興を図る。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各種港湾関係団体との連携を深め、東播磨港の安全・振興を図る。

【コスト】

	平成26年度(決算見込)	
事業費合計	565 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	565 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	04 港湾費
目	01 港湾管理費
細目	005 港湾振興及び保全対策事業

【コスト推移】

	平成26年度(決算見込)	平成25年度(決算)	平成24年度(決算)
事業費合計	565 千円	617 千円	580 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	港湾整備の充実は東日本大震災以降特に関心が高まっている事業であるため継続していくことが妥当である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	港湾振興及び保全対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
港湾清掃参加者	人	217	205	210

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
港湾清掃参加者	人	217	205	210
活動指標分析結果	港湾の安全や景観を維持するため町内会や漁業組合、市職員で協力しあい港の清掃を行っており、活動として妥当なものとする。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目 標 値
港湾清掃参加者	人	217	205	210	平成27年度	220
成果指標分析結果	毎年同じ位の人数で行っており、一定の水準を維持しており、妥当なものとする。					

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	都市計画道路網見直し事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 交通・港湾機能を充実する
事業実施期間	～ 平成27年度
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法

【事業概要】

現状と課題	拡大成長社会から成熟型社会への移行、人口減少・少子超高齢社会の進行など社会経済情勢の変化等に対応した幹線道路ネットワークの構築が必要とされている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	社会情勢の変化や地域の交通特性、土地利用の状況などを踏まえ、必要性に変化が生じた長期未着手の都市計画道路網を見直し、現状を成熟した都市基盤ととらえ、現状に合った都市計画、まちづくりの実現を図る。
対象 ※誰、何に対して	市内全域
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県策定の「都市計画道路見直しガイドライン」に基づき都市計画道路の変更・廃止等の対象路線を抽出、公表、都市計画素案を作成し、対象区域の市民への説明会を行い、法に基づく縦覧などにより意見聴取を行うなど、都市計画手続きを行う。

【コスト】

	平成26年度（決算見込）	
事業費合計	0 千円	
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他特財	0 千円
	一般財源	0 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	10 計画調査費
細目	025 市域都市施設調査事業

【コスト推移】

	平成26年度（決算見込）	平成25年度（決算）	平成24年度（決算）
事業費合計	0 千円	3,455 千円	1,460 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域の将来像や交通環境の変化、将来交通需要などを総合的に勘案し、幹線道路ネットワークの見直しが必要である。また、その決定にあたっては、市民等への公表が重要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成26年度実施事業〉

事務事業名	都市計画道路網見直し事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
都市計画道路	k m	138.69	138.69	137.27

【事業実績】

活動指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度
関係機関と意見調整した回数	回	10	10	5
活動指標分析結果	都市計画道路見直し対象路線については、関係機関等との調整が完了し、対象路線の抽出が完了した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	目標年度	目標値
都市計画道路見直し対象路線の抽出	式	1	1	0	平成27年度	1
成果指標分析結果	見直し対象路線の抽出が完了し、市民への公表が完了した。					